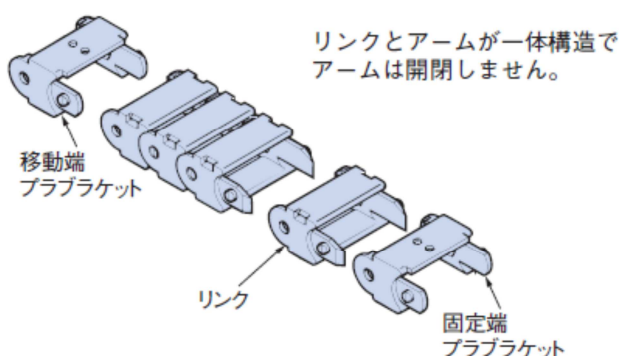
つばき ケーブルベヤ® 取扱説明書

TKP13H10	・	TKP18H15
（旧 TKP0130）		（旧 TKP0180）
一体タイプ		一体タイプ

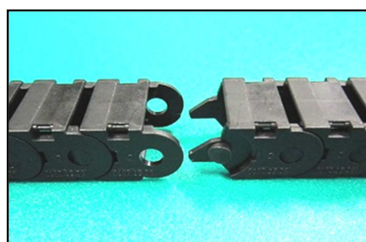
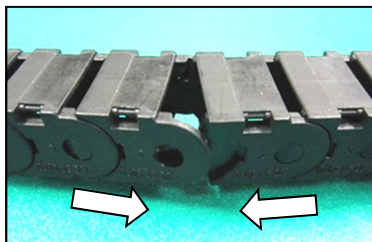
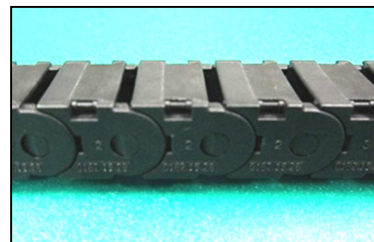
（注）作業の際には適切な保護具（安全眼鏡、手袋、安全靴など）を着用してください。

1　構造・名称

2　納入状態

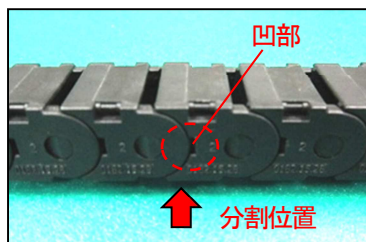
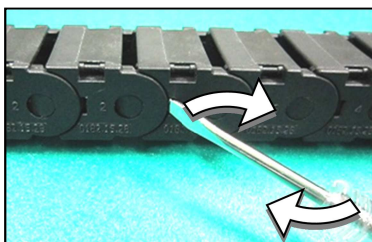
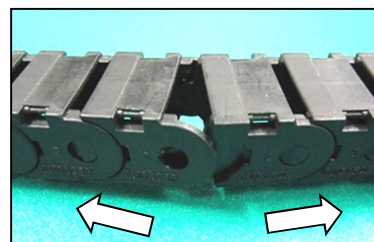
ケーブルベヤ本体が定尺長さ（下記リンク数）を超える場合は、分割して納入いたします。
また、移動端プラブラケット、固定端プラブラケットは、通常、部品にて納入します。

【定尺長さ（リンク数）】　・TKP13H10：77 リンク　　・TKP18H15：55 リンク

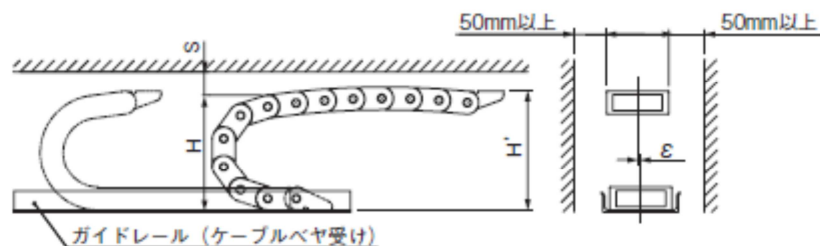
3　連　結

※移動端プラブラケット、固定端プラブラケットのリンクとの取付けも同様の要領です

①方向をそろえます。
注：天地方向が互いに同じで
あること確認してください。

②リンク部を重ね、次に一方の
ピンを孔に挿入します。

③他方も押し込み、ピンを孔に
挿入し、連結します。

4　分　割

※移動端プラブラケット、固定端プラブラケットのリンクからの取外しも同様の要領です

①分割位置の凹部（〇印内）に
マイナスドライバー（先端幅
2～3mm）を差込みます。

②マイナスドライバーを矢印の
方向にこじて、ピンを孔から
外します。

③他方のピンを支点にしてケーブ
ルベヤ本体を「く」の字に曲げ
ると外れ、分割されます。

５　取扱上の留意点

ケーブルベヤには、ご使用によっては、フリースパン部にふくらみやたわみがあらわれますが、当社能力線図内で選定されている場合は、使用上問題ありません。

１．ケーブルベヤの設置高さ（H'）　は、
　　総高さ H＋(10〜30) mm　としてください。
２．余裕空間（S）は、50mm 以上　としてください。
３．ガイドレールを取付けてください。
４．移動端ブラケットと固定端ブラケットの取付面誤差（ε）は、3mm 以下にしてください。
５．ケーブル・ホースは屈曲性、耐摩耗性に優れた移動用のものをご使用ください。
６．ワイヤーブレード外装のものは、いたみやすいことがあるので、使用を避けてください。
７．ケーブル・ホースは積重ねて使用すると摩耗が生じやすいので、できるだけ横に並べて使用してください。
８．ケーブル・ホースは長さに余裕をもってセットし、適正な長さに調整のうえ、両端部でクランプしてください。
９．ガイドレール内に異物があると、破損の原因になりますので取除いてください。
１０．次の部品は部品送りといたしますので、取付時に組み込み願います。
　　・（移動端・固定端）プラブラケット

◎プラブラケットの取付面に凹凸があると、ブラケットが破損する場合もありますので、なるべく滑らかな平面に取付け願います。また、プラブラケットの取付ボルトを締めすぎると破損する場合もありますので下記推奨締付トルクにて締付け願います。

ボルトサイズ	推奨締付トルク
M3	0.3 N･m
M4	0.6 N･m